

怪盗集団ホックと木の国

作…西井桃子

登場人物

■怪盗集団ホック

タクト

ホーリー

ワッキー

■木の国の住人

木のせいれい A・B

村人 A

村人 B

むしとり少年

カブトムシ

ダンゴムシ

シーン1 怪盗集団ホック、木の国にたどり着く

怪盗集団ホックがやってくる

ワッキー…あついな〜!

タクト…おいワッキー、しっかりしろよ!

ワッキー…すみません…!でもアニキ、「おたから」はどこにあるんですかね?

ホーリー…聞いたところによると、「幹に樹液がいつばいついている木の上」にあるらしいぞ…

タクト…そんなの、このへんの木、ぜんぶそうじゃん!見つからないよ!

ワッキー…いやいや、ぼくたち「怪盗集団ホック」に盗めないお宝はないですよ!頑張りましょうアニキ!

ホーリー、「幹に樹液がいつばいついている木」を見つける

ホーリー…あつた!

タクト・ワッキー、一緒に木をジッと見る

ワッキー…幹に樹液がいつばいついている…おおく!ほんとだ!

木の上から、わらいごえが聞こえる

ワッキー…誰かいるのかな？アニキ！木の上ののぼってみましようよ！  
タクト・ホーリー…よし、行ってみよう

怪盗集団ホック、木の上ののぼってみる

木にのぼった先には、村人A・B・木のせいいがいる

タクト・ホーリー・ワッキー…すみません！

村人A…はい？

ワッキー…ここはどこですか？

村人B…ここは「木の国」ですよ。はじめまして。

ホーリー…あの、ここに「おたから」があるって聞いて

ワッキー・タクト…わー！

ワッキー…たっ、たのしそうなかえが聞こえたので、ちょっとあそびにきたんです！  
村人A…そうなんです！どうぞたのしんでいってくださいね。

会話の間、木のせいいいはフワフワと遊んでいる

ホーリー、木のせいいいたちを見つける

ホーリー…あの、あなたたちは誰ですか？

木のせいいい…わたしたちは、木のせいいいです！

木のせいいい、いなくなる

ホーリー…あ、待ってー！

ホーリー・タクト、木のせいいいを追っていなくなる

ワッキー…あ、ちょっと！どこ行くんですか！

ワッキー、追おうとするがつまづいて転んでしまう

## シーン2 木の国の秘密

むしとり少年・カブトムシ・ダンゴムシ走って出てくる

むしとり少年…大変だ大変だー！

村人A…どうしたの？

むしとり少年…巨人が、巨人がー！

ワッキー…ええ！？巨人！？ここには巨人がいるんですか！？

カブトムシ・ダンゴムシ…うん！

ワッキー…その巨人が、まさか、この国をおそって来たんですか！？

むしとり少年…ううん、巨人の元気がないんだ！

ワッキー…巨人の元気がない？

村人B…みんなでみにいこう！

村人A・B・むしとり少年・カブトムシ・ダンゴムシ、巨人を見に行く

ワッキー…あ、ちょっと！もう、みんな置いてかないでー！！

ワッキー、村人たちを追いかける

タクト・ホーリーが戻ってくる

ホーリー…あれ、みうしなった・・・

タクト…木のせいれい、どこいったんだ？

ワッキー戻ってくる

ワッキー…あ、アニキィ、どこに行ってたんですか！

ホーリー…ワッキーこそどこ行ってたんだよ！

ワッキー…じつは・・・巨人を見に行ってきたんですよ！

タクト・ホーリー…巨人！？

ワッキー…いや、巨人っていつても、この木と同じくらいの高さで、そんなめちゃくちゃ大きくはないんですけど、そいつがなんか、めっちゃしんどそうに歩いてて、みんなめっちゃ焦って・・・

タクト…ちよっとまった。別に「がい」はないんだな？

ワッキー…え？そうですね、おそってくるとかはないので・・・

ホーリー…じゃあほっとこう！今だれもないから「おたから」を探すチャンスだぞ！

ワッキー…えっ、ああ・・・、そうですね！行きましよう行きましよう！

怪盗集団ホック、お宝を探しに行く

### シーン3 木のおつげ

村人A・B・むしとり少年・ダンゴムシ・カブトムシ戻ってくる

ダンゴムシ…巨人、しんどそうだったね

カブトムシ…しんどそうだった!

村人B…巨人、わるいやつじゃないし・・・

村人A…たすけてあげたほうがいいよね。

むしとり少年…みんなで力をあわせたらできるよ!

怪盗集団ホック、お宝探しから戻ってくる

ワッキー…「おたから」ないなあ・・・あっ!

むしとり少年…わあ! みなさん! あつまってくれたんですね!

タクト・ホーリー・ワッキー…え?

木のおつげの音が聞こえる

おつげの音に合わせて、木のせいれいが出てくる

木のせいれい…木のおつげです! 木のおつげです!

ホーリー…あっ! 木のせいれいだ!

木のせいれい、みんなの前に出てくる

木のせいれい…『コホン。巨人は「ねっちゅうしょう」でくるしんでおる。みんなで力をあわせて、巨人を元気にしてやってほしい』・・・だそうです!

お告げを言い終わると、木のせいれいはいなくなる

木の国の人たち…(口々に)ねっちゅうしょうってなんだ・・・

むしとり少年…みんなの心を一つにしたらだいじょうぶだよ!

木の国の人たち…(口々に)そうだそうだ!

木の国の人たち、怪盗集団ホックもなかまに連れて、円陣を組もうとする

木の国の人たち…えいえいおー！  
タクト…ちよっとまってちよっとまって！  
ホーリー…おれたちはやらないよ？  
むしとり少年…えっ、でも・・・  
タクト…めんどくさいし  
ホーリー…おれたちにはかんけないし  
タクト…てことで。しつれいしまーす！  
ホーリー…いこうぜ！  
ワッキー…あっ・・・まっってください、アニキィ！

怪盗集団ホック、どこかへ行ってしまおう

村人A・・・あんないいかたしなくてもいいじゃん！  
村人B…でも、めんどくさいって  
みんな…うーん・・・  
ダンゴムシ・・・とりあえず、ぼくたちだけでがんばるしかないね。  
むしとり少年…行こう！

木の国の人たち、作戦会議に向かう

#### シーン4 お宝のありか

場面は変わって、怪盗集団ホックの様子

ワッキー…「おたから」ないっすねえ・・・  
タクト…そうだなあ・・・  
ワッキー…あ、巨人だ！！！！

怪盗集団ホック、巨人を見る

ワッキー…うわ、すごい汗をかいてる・・・ふらふらだ・・・  
タクト…ああいうときは、ひかげにはいつてやすまさないといけないな  
ワッキー…へ？  
ホーリー…あとはけっかんのふとい、くびをひやすとか。  
ワッキー…アニキたち、なんでそんなに詳しいんですか？

タクト…あれはエジプトの「おたから」をいただきにいったときだった・・・  
ホーリー…さばくでしにかけたもんな

タクト…あのときは、みしらぬエジプトのひとにたすけてもらったなあ。  
ワツキー…そんなことがあったんですね！

木のせいれい、どこからともなく現れる

ホーリー…うわ、木のせいれいだ！

木のせいれい…その「アイデア」、木の国の人たちに教えてあげてください  
ワツキー…アイデアって、「ひかげにはいつてやります」ってこと？

タクト…なんでだよ、おれたちはかんけないだろ

木のせいれい…いいえ、かんけいあります

タクト・ホーリー・ワツキー…え？

木のせいれい…木の国の「おたから」の場所は巨人が知っています

タクト・ホーリー・ワツキー…えー！？

ワツキー…ということは、巨人が元気になったら、「おたから」のありが分かるってこと！？

木のせいれい…(うなづく)

ワツキー…そうときまればやることはひとつ

タクト・ホーリー…巨人を元気にするぞ！！！！

ワツキー…やったー！！

ホーリー…ワツキー喜びすぎだろ！

ワツキー…あ、あはは！さ、行きましよう行きましよう！

タクト…いや、お前にはやってほしいことがある

ワツキー…え？

タクト、ワツキーに耳打ちをする

ワツキー…なるほど！まかせてください！

タクト、ホーリー、木のせいれい、ワツキーを残していなくなる

村人B、カブトムシがワツキーのもとに来る

ワツキー…あれ？

カブトムシ…木の国の代表で来ました。

村人B…巨人を助けてください。

カブトムシ…お願いします。

村人B…一緒に、あの二人を説得してくれませんか？

ワッキー…あの二人ってアニキたち…っなるほど！あの、僕たち、おたからが…あ、いや、さっき、巨人を助けるって決めたんです！一緒に巨人を助けましょう！  
ワッキー・村人B・カブトムシ…えいえいおー！

●以下、音楽に合わせて動きだけで表現

①ワッキーにつれられてやってくる木の国の人たち

②タクト、ホーリーの指示を聞く木の国の人たち

③怪盗集団ホックと木の国の人、円陣を組む

④みんなで大きなひかげを作る

⑤巨人をひかげに移動させる

シーン5 さらば、木の国

場面が変わって、木の国の人たちと怪盗集団ホックがあつまっている

むしとり少年…ありがとうございます！みんなで大きなひかげを作ったおかげで、巨人も元気になるました！

木の国の人たち…(口々に)ありがとうございます！

タクト…まあ、巨人、かわいそうだったからさ。みごろしにしないでいいかなって。

ホーリー…おれも、自分がねっちゅうしようで、たすけてもらえなかったらいやだし。

ワッキー…いや、本当によかったす！よかったす！

タクト…ワッキーがいちばんよろこぶのかよ！

みんな…(笑う)

ホーリー…ほら、帰るぞ！

木のせいれい…また「木の国」に遊びに来て下さいね

木の国の人たち…ばいばーい！

木の国の人たちは、木の国の日常に戻り、怪盗集団ホックは地上に戻ってくる

ワッキー…巨人が元気になってよかったですなあ！

ホーリー…ん、なんか忘れてないか？

ワッキー…タクト…え？

間

タクト・ホーリー・ワッキー…あー！…「おたから」！！！！！！  
タクト…バカ！一番大事な物忘れてどうするんだよ！  
ワッキー…あー！すっかり忘れてた、どうします!？  
タクト…巨人のあとを追うぞ！  
ホーリー…あっあそこだ！  
タクト・ホーリー・ワッキー…までー！！！！！！

おしまい

## エコはかせコメント



この作品を作ったみんなは、本当に自然に触れて、木に樹液がついてるのを見たり触ったりしたんですよね？その様子がよく伝わってきました。  
宝が「幹に樹液がいつばいついてる木の上」という設定がいいですね。そうなんです。実際に樹液が豊かな木って、栄養がたくさんつまっているんです。  
また、熱中症の巨人を、みんなであおいで冷ましているのは、まるで暑くなった巣を冷やすミツバチみたいでした。

さて。このお話には環境問題を解決する際に必要な3つの要素が出ていたと思います。一つ目は、知識。解決方法を知っていること。ホックの一味は熱中症の対処の仕方を知っていましたね。

二つ目が、思うこと。巨人がかわいそうだ、と木の国の人たちは思いました。  
そして三つ目は、アクション。行動を起こすことです。みんな協力して巨人を休ませ、冷やしていました。

この三つが揃って、巨人は熱中症が治ったのです。

環境問題のことを考える時に、皆さんもこの三つが揃っているか考えてみてください。